

謝 辭

謝 辞

研究の発案から、対象者の収集、データの解析、論文の投稿まで、幅広くそして懇切丁寧にご指導くださった筑波大学体育科学系助教授田中喜代次先生に深謝しております。また、先端学際領域研究センター (TARA) の「高齢者の総合的 QOL (Overall Quality of Life) 指標の開発 - ヒトの活動的ライフの延長を支援する体力づくりシステムの構築に向けて -」プロジェクトに関与させていただくことで、本研究の促進に配慮くださったこともお礼を申し上げます。

本論文を査読していただいた筑波大学体育科学系教授高松薫先生、教授吉田茂先生、助教授鯨坂隆一先生には、厳しい中にも長年の研究成果から得られた英知をご教授いただき、本論文の改善につなげることができました。また、最後まで細心の注意が必要であることご教授していただき、本論文の完成度を高めることができました。

学内のみならず、学外の先生方にも研究の趣旨をご理解いただき、多大なご協力を得ることができました。茨城県立医療大学講師伊佐地隆先生、埼玉県リハビリテーションセンター大久保春美先生。また、本研究における対象者の多くは、水戸市保健センター保健師柳田富枝氏、阿見町総合保健福祉会館保健師中澤勝子氏、高萩市総合福祉センター松井好子氏、玉造町保健センター保健師一条千登世氏をはじめ多くの方の献身的なご協力によって集めることができました。

最後になりましたが、研究室の院生にも感謝の意を表したいと思います。彼らの協力がなければ、ここまで研究を進めることができなかつたとお思います。データ収集の協力のみならず、研究の議論を多岐にわたり交わしたことは今後の糧になると思います。

ありがとうございました。